

情報メディア委員会より

ホームページ更新しています
 西部青年中央会のホームページが更新されています。門協会長ご挨拶、会のあゆみ、ハンサムバックナンバーによる活動報告などに加え、会のネットコミュニケーションに役立つ「掲示板」や「スケジュール」など【会員専用】ページもできています。
 アクセスURLは次のとおり。http://www.tsc-west.gr.jp/
 また、会員専用ページでは次のIDとパスワードが必要です。これはフリーな閲覧を制限するためのものですので、お取扱いにご注意をおねがいします。ユーザー名：member、パスワード：tsc4649（入力は慎重に。mとnが間違いないです。）
 お問合せ、ご希望などがありましたら、情報メディア委員会/岡山までメールください。hhatake@saurei-foods.co.jp

中本委員長 お子様誕生！！

中本和泰（わか）ちゃん
 2002.11.20誕生

「大きくなって天まで昇って下さい。父としては65歳まで現役で頑張ります。」



井塚会員入籍！！

- Q1) 入籍はいつされましたか？
 結婚式はいつですか？
 A1) 11月8日です。式は春ごろしたいと思います。
- Q2) 彼女について教えてください。
 A2) 洋子23歳。O型Cカップです。
- Q3) 付き合いだしたきっかけは？
 A3) 某RBというお酒の出でくる店で、どちらからとなく。
- Q4) 彼女のどこに惚れましたか？
 A4) 一緒にいて楽しかったところ
- Q5) プロポーズはどこで、何とおっしゃいましたか？
 A5) 「結婚しよう」が私の口癖なので正確にはわかりません。
- Q6) 現在幸せすぎて中央会活動に支障がありませんか？
 A6) 中央会活動は大丈夫ですが、その後のクラブ活動に支障が出てます。
- Q7) 中央会の皆さんに一言お願いします。
 A7) 金のかかる嫁と養育費で貧乏になってしまいました。皆さん仕事ください！



おわび
 先月号のハンサム「OB交流会」の記事中、和田健二OBとありますが、正しくは和田秋男OBです。深くおわび致します。

1月例会案内

とき 平成15年1月15日(水) 18:30~
 ところ ホテルサンルート米子
 講師 (株)中塚カイロプラクティック研究所
 院長 中塚 祐文氏
 演題 中央会人の不摂生を正すー「企業人としての自己管理」

1月役員会報告

役員会が平成15年1月6日(月)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。
 (1) 1月・2月・3月例会開催の件
 (2) トライアスロンの件
 (3) その他

※この紙は再生紙を使用しています。 ※環境に配慮した「大豆油墨」を使用しています。

言わしてごしない EPISODE 6

もう17年も前だがギリシャを旅行したときのことだった。イギリスのヒースロー空港から乗り込んだ私の隣にりっぱな疑の老紳士が座っていた。彼は私の顔を覗き込み「あなたは日本人か?」「私は若い頃、造船の関係で日本に行ったことがある」「私はギリシャ人で、今は貨物船の船長をしているんだ」とまるで待ち受けていたかのように話し掛けてきた。離陸の緊張感から開放された頃ようやく私も拙い英語で彼との会話を楽しんだ。彼は備え付けの世界地図を前の背もたれから引き出して広げると、「日本はこんな小さな島国なのに素晴らしい経済大国だ。ヒタチ・ミツビシ・ソニー・・・ギリシャでもよく知られている。ギリシャは日本に比べてとても貧しい国だが、初めて民主主義が起こった国だ!」真顔で言う老紳士のギリシャ人としてのアイデンティティーに圧倒されたのが今でも頭から離れない。

さて彼が言うところの極東の島国は最早かつての経済大国と呼ばれた時代の面影はない。失われた10年・バブル経済と呼ばれた時代の後遺症に病んでいる。中央の経済システムが地方経済の隅々まで行き渡ってしまっ、今ごろになって規制緩和・地方への権限委譲など、中央が地方を支えきれなくなってから声高に言っても時期を逸した感は否めない。さらに悪いことに地方が中央の経済システムを模倣しただけでなく、地域の慣習や風俗といった独自の伝統を捨てて中央に右に倣えしたのだから、地方のアイデンティティーといったものがどんどん消失していった。このことは地方に権限が委譲され「自分のことは自分で考えなさい」と言われた時、本当に自立した考え方で運営していけるのか?ということになる。

かつて諸外国から経済一流・政治は三流と揶揄された時代は過ぎ、経済三流・政治も三流と本気で心配されているのは細に障るのを通り越し、頭にくるではないか。金がじゃぶじゃぶあった時代は三流の政治でもなんとかできたのかもしれない。しかし無い袖は振れない状態の今日、地方自治というのが真に問われることになる。その意味において血税の使い道を決定する公僕の皆様方の手腕はとても大切だ。智慧を絞って地方に押し寄せる荒波の盾になってもらわねばならない。しかしもっと大切なのは地方に住む生活者が自分の住む地域を心から愛し、真剣に地域の問題を考えることであろう。そうすれば再び地方のアイデンティティーは形を変えて芽生え、ひいては日本人としてのアイデンティティーへとつながって行くと思ふ。幸いなことにこの島国は民主主義である。主役はそこに住む人々である。胸を張って「私は素晴らしい日本に、そして鳥取県に住んでいる」と心から言わねばならない。

(中島 太郎)

金の田 極楽通信

～極楽とはどんなところか?また、信じますか?～
 大阪の四天王寺の西門から真直ぐ西に向かっていると極楽浄土にあるという東の門にいきつくと信じられていた。しかし、そこは、十萬億の仏土を通過していった、はるかかなただという。そこは、いっさいの苦しみを離れ、万事がうまくゆく安楽の世界だ。心配ごととも悩みごとともなくなる。宝の玉をつらねた七重の網があり、宮殿は金・銀・琥珀・珊瑚などの宝石で飾られている。また、池の底には金の砂が敷かれ、まわりには宝石で飾られた回廊がある。その上を見ると、七種類の宝石を散りばめた楼閣が建っている。池には巨大な蓮華(ハス)の花が、ふくいくたる香りをただよわせてさいている。その花は、青・黄・赤色の光りを放っている。そして、天には美しい音楽が響き、悦楽を感じさせ、「曼陀羅華」の花が、黄金の地面にとぎれなく降りそそぐ・・・
 さて、貴方は天国か〇〇か?どちらに行かれるのでしょうか?



Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷社

新年のご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会
 会長 門脇 浩二



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様、昨年は大変お世話になりました。

日本経済は依然として回復軌道に乗らず、デフレ化は加速傾向にすらあり、出口の見えないかつて経験したことのない厳しい経済状態が続くと思われまます。

景気低迷に加え、北朝鮮・イラク問題など世界情勢の不安が高まる中ではありますが、西暦2003年を迎え、会員の皆様と一緒にテーマであります「『勝負』想いを形に」を本年は実践したいと思ひます。

西部青年中央会もあと1年で創立30周年になります。これまで培ってきた英知を生かし、そして更なる団結をもって何が何でも生き残らなければなりません。

どうか本年もよろしくお願ひいたします。

What's中央会 第6回 ~足立真治 西部青年中央会草創期を語る~

最近書類を整理していたら鳥取県西部中小企業青年中央会の設立趣意書なるものが出てきた。その中に設立発起人38名の名簿を発見した。蒼々たる顔ぶれである。

38名中、卒会者は23名。その内会長経験者は10名である。

振り返ると青年中央会が発足する前年の昭和49年の日本経済は、インフレが続行する中で、48年からとられた総需要抑制策、オイルショックの影響等により戦後最大の不況となり、経済成長率も戦後初めてのマイナス成長となった年であった。

そして昭和50年は2月から9月にかけて4次にわたる不況対策が講じられ、公定歩合も9%から6.5%まで引き下げられたが、景気の回復の足取りは極めて重く、成長率も2.0%と低調であった。雇用動向も12月には完全失業者が100万人を超え、求人倍率も0.52と1を1年以上も割り、新規採用の手控え、人員整理などが行われた。

このように現下経済情勢に似た悪環境の中、当時の鳥取県中小企業団体中央会の中村実副会長(後の会長)が、団体中央会の幹部役員の一であった永瀬義春氏のご子息永瀬正治氏(本会初代会長、現米子商工会議所会頭)に「中小企業の組織化の促進及びその振興発展を図るための青年組織」を創ってほしい旨を要請、それを受けて永瀬正治氏を発起人代表とする若手経済人38名により設立準備が進められ、昭和50年9月17日米子市弥生町「米吾」において、出席者70名により発会式が行われた。因みに設立同意者総数は94名であった。

初年度の役員会の議題を見てみると、「非協力会員の取扱いについて」「例会未出席者について」というものがいきなり見られる。又、例会は2ヶ月に1回の頻度で行われている。現在のように毎月例会を開催するようになったのは52年度からである。

一方、委員会については51年度から現在のようにテーマを定め活動している。委員会名は、第1委員会(地域開発)、第2委員会(経営)、第3委員会(労務)、第4委員会(個別企業)、総務(協業化)、及び親睦(金融)であった。最後に発起人38名を紹介する。(順原文通り・敬称略)

永瀬 正治、越河 允博、岡田 端、笠井 商臣、山林 毅男、森脇 徹、岸野 勝、野津 一成、東 肇、遠藤 道紀、内田 深、山尾 昭一、武本 淳、中村 純久、鹿島 一郎、種田 進、浜 仁義、和田 安弘、柿田 弘治、三好 雄平、足立 延愛、赤木 清、堀尾 敏昭、鶴田 武久、松田 一三、坂口 紀之、大原 康正、東 森 靖典、杉原 弘一郎、尾沢 三夫、手島 敏弘、門永 隆重、森脇 捲保、南家 悦郎、竹内 賢明、森 浩一郎、足立 統一郎、須山 修次

(事務局 足立 真治)

12月忘年例会



総務委員会担当による平成14年度12月忘年例会が12月16日(月)、ホテルサンルート米子にて行われた。恒例であるこの例会、今年には本総務委員長とっておき(?)企画、「愛妻同伴例会」として開催。現役会員94名とご夫人32名、OB会員19名とご夫人4名、総勢149名の出席の下、善段とは違って変わって華やかな例会風景に、開会前から既に会場は熱気に包まれていた。

初めに門脇会長から挨拶があり、やはりご夫人方からの熱い視線も相まって、善段より多少緊張気味の持場で、「我々経済人にとって、時代は好転しているとは言え難くまだまだ苦しい。しかし、我々は兎にも角にも前向きに一生懸命やるしかない。」と来年へ向けての更なる強い決意を表明された。

水総務委員長からの、本例会の趣旨説明の後、来賓を代表して中村昌哲OB会長が挨拶をされ、故岩坂和男OBを偲べながら「今年の辛い悲しい想いは今年で全て忘れ、(故人の為に)来年を素晴らしい年にしていこう。」と熱く語られた。

続き、来賓の石黒豊OBによる「昨今の日本人は元気が足りない。もっと日本に誇りを持って、元気を出して頑張ろう!」と鞭を交えての乾杯の音頭で、会は更なる盛り上がりを見せる中、中央会秘蔵VTRの上映に会場は爆笑の渦に巻き込まれたのであった。

暫しの歓談後、今年入会の新入会員が紹介され、各自元気に自己紹介を行った後、アトラクションへと進行。今年晴れてご成婚された会員ご夫妻を壇上に招いてのクイズ回答型対戦バトルゲーム、題して「THE BEST COUPLE」が開戦。やけにスリムなサンタクコースと、ちょっとシュールな雪ダルマ(失礼)のすべるように流暢な司会進行の下、初々しい新婚さんたちによるお熱い戦いが繰り広げられた。無理やり(?)

戦場へ乗り出されたアツアツソルジャー、湯原俊二会員と裕子夫人、岩崎康朗会員と雅代夫人、押藤博幸会員と愛夫人、井塚聡会員と洋子夫人、渡辺一徳会員と山希子夫人の5組10名の皆様。多少キワどいモザイク系の難題群に悪戦苦闘するも、そこは2人息の合ったところで次々とクリア。見事「THE BEST COUPLE」の栄冠を手にした湯原会員ご夫妻に、和田秋男OBより賞品ドンペリニオンが手渡され、前途を祝すお言葉が添えられた。

会も終盤に差しかり、アトラクション最後の催し、「ビンゴゲーム」が行われた。門脇会長をはじめとする多数の会員より寄せられた豪華賞品を巡って、読み上げられるナンバーに一喜一憂する会場。なんとといってもこのゲームの超目玉は、一等賞品の中央会提供ジャガー製自転車。これを野口会員の奥様が見事ビンゴ!羨望の眼差しを一身に受け、颯爽とジャガーに股がる野口会員!・・・あなたのじゃありません。奥様のです。

ゲームの興奮も冷めやらぬ中、松田一三OBの締め挨拶で有意義な時間もその幕を閉じようとしていた。「我々男共にとって“内助の功”は、とても偉大である。今年も残すところあと僅か。来年新春には是非この歌を。元旦よ 今年もどうぞ 女房殿」

(堀江 則夫)

会も終盤に差しかり、アトラクション最後の催し、「ビンゴゲーム」が行われた。門脇会長をはじめとする多数の会員より寄せられた豪華賞品を巡って、読み上げられるナンバーに一喜一憂する会場。なんとといってもこのゲームの超目玉は、一等賞品の中央会提供ジャガー製自転車。これを野口会員の奥様が見事ビンゴ!羨望の眼差しを一身に受け、颯爽とジャガーに股がる野口会員!・・・あなたのじゃありません。奥様のです。

ゲームの興奮も冷めやらぬ中、松田一三OBの締め挨拶で有意義な時間もその幕を閉じようとしていた。「我々男共にとって“内助の功”は、とても偉大である。今年も残すところあと僅か。来年新春には是非この歌を。元旦よ 今年もどうぞ 女房殿」

(堀江 則夫)



家族例会
和田富美枝
(和田 秋男OB奥様)

主人が卒会して早や15年になります。想いおこせば朝から夜半まで「中央会・中央会」だったと記憶が甦ります。当時子育ての真っ最中の時、主人に子供の事でSOS発信するも気が付いてくれませんでした。母子家庭生活が今は懐かしく思い出されます。又、会員の皆様が家まで来ていただき私自身多くの方々と知り合い、色々勉強させていただきました。主人も会の中で英知・友愛・団結のもとに素晴らしい財産を得たと思っています。

この度家族例会に参加させて頂き、久しぶりに青年中央会の若さとパワーを感じ、今も昔も変わらず素晴らしい会だと感激いたしました。本当に有難うございました。

現役ご婦人の皆さん毎夜「中央会・中央会」と出かけて行くご主人を永い目で見守って上げて下さい。間違いなく大きくそして逞しく成長される事でしょう。唯、「中央会」の名のもとに他の用事で出かけられるとしたらそれは決して許されるべき事ではありませんのでご注意ください。

青年中央会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈りいたします。



忘年例会に参加して
渡辺由希子
(渡辺一徳会員奥様)

この度は、忘年例会に参加させていただき、ありがとうございます。例会と一緒に参加しないかと聞かれた時は、年上の方々ばかりで堅い会かな、と思っていたので少し不安もありました。しかし実際には、思ったより女性の方が多く華やかで、皆さんが気軽に声をかけてくださるのでほっとしました。

色々な企画があり、しかもゆっくり食事までできたので、あっという間に時間が過ぎました。ただ、クイズに参加して仕切られた所に一人で寂しく、また他の人の回答も見えなかったので見ているほうが楽しそうだな、と思いました。これもクイズで最下位になり恥ずかしかった、という気持ちからかも知れませんが、

夫人同伴の例会は初めての試みと聞き、とても好感を受けました。中央会のことを知ることができ、また今後は夫人同士の交流にも繋がるのではないのでしょうか。企画、運営される方々は大変だったと思いますが、楽しい時間をありがとうございました。

参加しました我妻の感想を言いますと、大変好評であった事を報告させていただきます。元米、外に出て人と会うのが好きで人と喋るのが生き甲斐でにぎやかな妻であります。それを差し引いても良い会であったように感じ入っていました。具体的には、スピーチの中にユーモアがあり、何よりこの中央会を愛し、仕事に励む姿勢が伝わってきた事に感動していました。ビデオでの、居眠り・靴下のシール等に見られる会員の顔に少年のように喜ぶ心が、中央会の親睦の絆として見られたようです。中津尾副会長を中心として編集された会員の方々には、本当にお世話になりました。我妻だけでなく、OB会員の先輩にも懐かしさと心地よさが非常によく伝わっていたように見受けられました。ビンゴゲームにおいては、OB会員の方々や女性に多く当たり、それだけでも本会の目的が達成できた感があります。これからは、中央会の会と聞けば、一段と笑顔で「いってらっしゃい」と心から喜んで送り出してくれる事保証付きです。

今回、忘年例会に夫人同伴という初の企画運営を水委員長のもとに試みたわけですが、皆様には行き届きな点もあったと思います。本会に懲りずに、また参加のご案内を出させて頂く時は、快く出席して頂きますようお願いいたします。OB会員の皆様、そして美しい夫人の皆様、本当にありがとうございました。



忘年例会に出席して
副会長 山本良文

水総務委員長の企画趣旨である「日々仕事に打ち込み、当会の活動にも積極的に参加できるのは、内助の功があるからこそであります。当会の活動をご理解いただくことも重要なことであり、OB会員と現役会員そしてその夫人にも参加していただき、1年間の労をねぎらい合い、来年の活躍を誓い合える場の例会を開催します。」という思いに今年の忘年例会は開催しました。

参加しました我妻の感想を言いますと、大変好評であった事を報告させていただきます。元米、外に出て人と会うのが好きで人と喋るのが生き甲斐でにぎやかな妻であります。それを差し引いても良い会であったように感じ入っていました。具体的には、スピーチの中にユーモアがあり、何よりこの中央会を愛し、仕事に励む姿勢が伝わってきた事に感動していました。ビデオでの、居眠り・靴下のシール等に見られる会員の顔に少年のように喜ぶ心が、中央会の親睦の絆として見られたようです。中津尾副会長を中心として編集された会員の方々には、本当にお世話になりました。我妻だけでなく、OB会員の先輩にも懐かしさと心地よさが非常によく伝わっていたように見受けられました。ビンゴゲームにおいては、OB会員の方々や女性に多く当たり、それだけでも本会の目的が達成できた感があります。これからは、中央会の会と聞けば、一段と笑顔で「いってらっしゃい」と心から喜んで送り出してくれる事保証付きです。

今回、忘年例会に夫人同伴という初の企画運営を水委員長のもとに試みたわけですが、皆様には行き届きな点もあったと思います。本会に懲りずに、また参加のご案内を出させて頂く時は、快く出席して頂きますようお願いいたします。OB会員の皆様、そして美しい夫人の皆様、本当にありがとうございました。

今回、忘年例会に夫人同伴という初の企画運営を水委員長のもとに試みたわけですが、皆様には行き届きな点もあったと思います。本会に懲りずに、また参加のご案内を出させて頂く時は、快く出席して頂きますようお願いいたします。OB会員の皆様、そして美しい夫人の皆様、本当にありがとうございました。

8大委員長大いに語る!!

各委員長に任期前半をふりかえり、後半の思いを語っていただきました

【質問事項】

- Q1 任期前半をふりかえっての感想をお聞かせ下さい
- Q2 委員長として一番苦労されている点はなんですか?
- Q3 前半の委員会運営の自己採点は100点中何点だと思いますか?
- Q4 委員会運営後半の意気込みをお聞かせ下さい

きずな委員長 松本 英樹

A1) 7月の委員会で会員の顔ぶれを見た時、「そうそうたるメンバーだなあ」と思い、「うまくきずな委員会をまとめていけるのだろうか・・・」と不安でした。2、3回と回を重ねていくうちに、個々の会員の性格をつかもうと一生懸命になっていました。そして、良い委員会にしようと焦っていた自分に気づき、できるだけ自分らしくしようと心がけるようになりました。

長いようで短い半年間でした。副会長にアドバイスをもらい、副委員長に力を借りながら、なんとか委員会活動に力が出てきたと思います。
A2) 個性の強い会員の皆様を一つにまとめる事。
A3) 80点
A4) 残り半年間も会員の皆様の協力をもらいながら、4月の担当例会を無事成功させて、6月にはきずな委員会としての思いを形にできるように頑張りたいと思いますので、今まで同様ご協力をよろしくお願ひします。

政治行政委員長 土井 祐次

A1) 今年は私が厄年だったのかわからないが、最初からつまずきました。委員長の抱負を発表する当日、仕事中にケガをしてしまい、副会長さんに発表して頂きました。委員会のメンバーにはご迷惑をかけたのですがメンバーに助けられ順調に委員会活動ができました。
A2) 委員会の開催日の決定(多数出席していただくため)
A3) 90点ぐらい(-10点は委員長の点です)

A4) 3月は担当例会です。多数の会員の方が出席していただけるような例会をしたいと思い、準備をしています。

国際交流委員長 中本 高夫

A1) 7月に国際交流委員長を拝命し、あわただしく半年が過ぎたように思います。Look westを合い言葉として、特に中国を意識しながら委員会の活動をしてまいりました。中国を学ぶことにより、今までにない中国像とは異なる中国の発見があり、委員会メンバーと共に成長していることを実感できた半年であったように思います。
A2) 私としての苦労はあまりないのですが、釜田担当副会長及び、

渡辺一徳副委員長、並びに委員会メンバーに支えられた事に感謝致しております。
A3) 60点程度ではないでしょうか?
A4) 引き続きテーマはLook westなのですが、「国際交流委員会が青年中央会に対して何が出来るのか」それが大きな課題です。1年間学んだことをいかに会員にフィードバックする事が出来るのか、そのことを中心に考え、5月の担当例会、そしてまとめへと進路をとっていきたく思います。貴重な我々の会費によって運営されている委員会だからこそ、会員一人一人と共に成長しあえる委員会活動を目指します。

「春には、みんなで中国へ行きます。」
カムサハムニダ。(감사합니다)

総務委員長 水 康徳

A1) 年度当初より懇親会、OB交流会、12月例会と開催してまいりましたが、天候に恵まれ無かったこともありましたが、無事終了することができました。多くの皆様にご協力頂きました。大変感謝しております。ありがとうございます。
A2) 苦労と感じることは特にありません。
A3) 70点

A4) 今年度前半はあっという間に過ぎたように思えます。残り半年も気を抜くことなく、委員会のメンバーの記憶に残る委員会にしていければと思います。

情報メディア委員長 畠山 広幸

A1) とにかくアツという間に過ぎたという思いが一番強いです。9月が担当例会だったこともあり、委員会の方向が半熟明のように固まっていなかった中で、短期的な視点でスタートダッシュしました。その後CATV見学やホームページ作成実習など周辺の勉強も進めました。見聞を広め価値観の構築が徐々にできつつあると思っています。

A2) 良い内容で委員会運営をしていきたいと思っています。メンバーのみさんに委員会が「面白い」「ためになる」「楽しい」と感じてもらえなければ委員長の責任です。努力不足です。
A3) 委員会の出席率が点数になるのでしょうか。60点ぐらいでしょうか?
A4) 8月に岡山県庁や岡山市役所を訪問し、「情報ハイウェイ」先進県の取り組み状況や抱える問題などを調査しました。年度後半はこれを身近な地域の問題として捉えなおし、鳥取県や我々の生活が少なくとも「情報過疎」として取り残されないためにも、行政とのパイプ役として一石を投げられる活動のまとめをして参ります。

モラル委員長 後藤 秀之

A1) 前半の目標である学校から見たモラルについては約80%出来ました。幼稚園から学校の先生と講師を招き、時間が足りない位討論しました。
A2) 委員の出席率と講師先生の依頼
A3) 70点
A4) 後半は一般の講師を招き、社会人としてのモラルと題して討論していきたいと思っています。

経営委員長 河端 明彦

A1) あっという間の半年でした。11月が担当例会であったのも災いして、何一つついてない気がします。それと、委員会メンバーの委員会出席率が非常に悪く、淋しい前半を過ごしました。
A2) 「苦労」ではないのですが、委員会への出席者が少ない事に悩んでいます。
A3) 60点

A4) 後半は、多方面から講師を招き、色々なお話を聞こうと思っています。また、委員会内の輪を作らないといけません。後は残り半年、どんな結果になるのか分かりませんが、突っ走るのみです。

広報委員長 小原 伸夫

A1) 委員長という大役が、私に勤まるか大変不安であったが、あっという間に半年が過ぎたというのが正直な気持ちです。植田副委員長・委員会メンバーの協力あって「やっとなこまで来たな」と実感しています。
A2) 委員会・例会の出席率アップが一番気になり苦労します。
A3) 80点くらいではないでしょうか?「ちょっと言いすぎかな」

面白いハンサム発行が出来ているのではないのでしょうか。
A4) 委員長としての活動も後6ヶ月、それと同時に中央会活動も残り6ヶ月になりました。委員会メンバー一丸団結して会員に身近なハンサム編集を心がけ、残りの中央会活動を十二分に楽しみたい。会員の皆様には、今後ともハンサム取材にご協力くださいますようお願い申し上げます。

12月度委員会報告

きずな委員会 平成14年12月12日(木) 於: 岩崎館 内容/①委員会講師の件 ②その他 ③忘年会 出席者/13名	情報メディア委員会 平成14年12月9日(月) 於: 松江鮮魚店 内容/①前期活動について ②忘年会 出席者/10名	政治行政委員会 平成14年12月11日(水) 於: 辰巳子館 内容/①グループ別発表 ②忘年会 出席者/11名	モラル委員会 平成14年12月5日(木) 於: 海潮閣 内容/忘年会 出席者/11名
--	---	--	--

国際交流委員会 平成14年12月6日(金) 於: 海王 内容/①「各委員会へ中国視察メンバー募集と意見吸い上げ」について ②会員拡大について ③忘年会 出席者/10名	経営委員会 平成14年12月4日(水) 於: 岩崎館 内容/①前期活動について ②忘年会 出席者/9名	広報委員会 平成14年12月10日(火) 於: 海潮閣 内容/①ハンサム1月号担当割 ②1月担当例会について ③忘年会 出席者/10名	総務委員会 平成14年12月5日(木) 於: ホテルサンルート米子 内容/12月忘年例会打合せ 出席者/12名
---	--	---	---